平成３０年度　第３回深谷市まちづくり評価委員会　会議録

（グループ評価１回目）

1. 実施日時

平成３０年１１月２９日（木）午後１時００分～３時００分

1. 場所

　　　本庁舎３階　大会議室

1. 出席者

　　　委員８人

（神山委員長、富田委員、当間委員、福地委員、細井委員、大澤委員、

村岡委員）

協働推進課４人

（杉本課長、佐藤補佐、小島係長、飯島係長）

企画課（事務局）６人

（荻野次長、清水補佐、倉林係長、中島係長、小川主査、深町主任）

１　開会

２　あいさつ

３　自己紹介

４　グループ評価

　　（１）対象主要プロジェクトの確認

　　　　　・今回、まちづくり評価で取り上げる主要プロジェクトは、「主要プロジェクト５　魅力発信！知って見て好きになる ふかやプロジェクト」であることを確認。

　　　　　・本主要プロジェクトの担当課は協働推進課である。

　　（２）プロジェクトの概要説明

　　　　　　　協働推進課長より、本主要プロジェクトの概要及び取り組み内容について説明。

（３）意見交換

　　　　　主要プロジェクトの実施計画等を使用し、委員会と主要プロジェクト担当課との意見交換により、この主要プロジェクトの現状把握及び課題の洗い出しを行った。

【グループ評価で出た主な意見】

・魅力とは何か、定義が必要ではないか。

・シビックプライドの醸成はどのように測るのか。

・知名度向上には、「深谷市」の名称を「ふかや市」にするくらいの覚悟とインパクトが必要。

・マーケティング手法で用いられるランチェスターの法則からしてもターゲットを絞るべき。

・深谷市に住んでもらうためには、〇〇パッケージとして売り出すなどの届きやすい工夫が必要。

・取り組み内容が近隣市と変わらないと感じる。

・市民が主役になるコンテンツがあるのか？

・シティプロモーション戦略プランに合わせて恋愛に例えると、多種多様な人の中から選ばれるにはどうすればよいか？ということが大切。